

2024年ジュエリー業界大予測

ジャパンプレシャス

No.113

Spring 2024

JAPAN ジュエリー専門誌の決定版
Japan's Business Magazine For The Jewelry, Gem & Diamond Industry

PRECIOUS

どうなる!?
2024年以降の国内外の宝飾市場を徹底分析
地方における宝飾時計店の展望
業界が大注目!今後のラボグロウン市場のゆくえ
世界と日本におけるホールマーク事情

国内外展示会GUIDE

IJT2024 第35回 国際宝飾展

注目企業

ビジュアル トレーディングカンパニー

VITHAL TRADING LIMITED

デザイナー、ファウンダー
マリー・ダージュさんの自然にインスパイアされる家

「別荘に着いたら、冷蔵庫が空っぽでも
まず庭に出てブーケづくりを。
家中に飾って、やっとうとひと息つくんです」



敷地面積は約8ha。広大な敷地ゆえガーデニングは専門家に依頼。できるだけ自然のままをキープするよう、いわゆるフランス庭園ではなく、ソバージュ(ワイルド)な庭づくりを心がけている。この日はお孫さんと敷地内の森を散歩しながら花摘みを。

「この家は、自分にとって
どれほど自然が大切なのかを
実感する場所なんです」



ゲストルーム。インテリアファブリックのメゾン・シャール・ブルジェ、のコロナル風の植物が描かれた布を壁全面に配している。「窓から見える森の景色と部屋が溶け込むように工夫しました」とマリーさん。家具はすべて代々受け継がれてきたもの。

デザイナー、ファウンダー
マリー・ダージュ
Marie Daage

1990年、テーブルウエアのブランド「マリー・ダージュ」を立ち上げる。1点ずつフリーハンドで描かれる自然モチーフが話題となり、68色からなるオリジナルのカラーパレットで90コレクションを発表。メゾンや有名ホテルとのコラボレーションも多数。

フランス中部、古城で知られるヴァンドームは、ロワール川が街を縫うように流れ、歴代フランス王が住んだ城を中心として栄えた。宮廷がパリに移ってからも、王家の人々や貴族が狩猟に訪れる、由緒ある高級別荘地です。

12年前、夫がこの地の別荘の7代目当主となったマリー・ダージュさん。彼女は、花や鳥などのモチーフが人気のリモージュ焼「マリー・ダージュ」のデザイナーです。

「引き継いでからずいぶん経ちますが、大々的なリノベーションをしていて今も工事中。半分しか終わっていません。16世紀に建てられた建物は代々受け継がれてきたもので、家具や伝統は大切にしながら、現代のライフスタイルに合うよう水回りやゲストルームを整えています」

パリのアパートマンは日常の暮らしと仕事の場。一方、こちらの別荘は、リラクゼーションの場だと話します。「自分にとって、どれほど自然が大切なのか、インスピレーションの源なのかを、この家にいると実感します。久しぶりに来ると、冷蔵庫が空っぽでも、まずは庭に出てブーケをつくる。それを家中にセッティングしてやっとうと落ち着くんです」